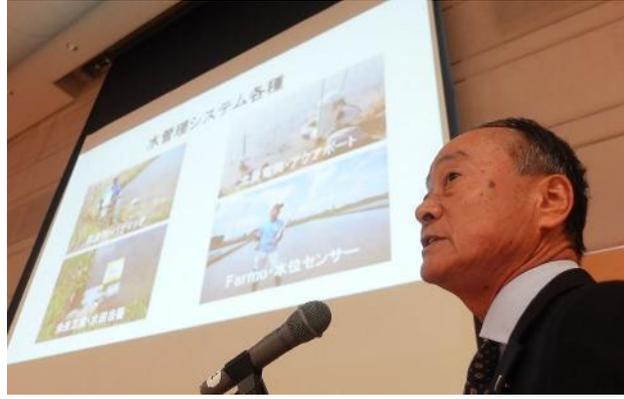


## 能登の農業復興プロジェクト



## スマート農業技術活用研修会



いしかわ  
農業法人だより



令和6年11月12日、金沢市内で「スマート農業技術活用研修会」が開催されました。県内農業法人を中心に多数が参加し、林農産・林氏による水管理システムの実践報告、農研機構・人見氏の基調講演を通じて、水管理の自動化やICT活用の可能性を学びました。メーカーによる実機展示も好評で、参加者からは「すぐに取り入れたい」との声も。今後の経営効率化に向け、大きなヒントとなる機会となりました。

令和7年2月4日、当協会プロジェクトチームは、クラウドファンディング「能登復興プロジェクト」をキャンペーンファイヤーにて公開しました。震災支援の経験豊富な「チーム熊本」の皆さまにもご協力いただき、全国の多くの方々から温かいご支援を頂戴し、目標を達成することができました。ご協力くださったすべての皆さまに心より感謝申し上げます。今後はお寄せいただいた支援をもとに、被災地域の復旧・復興を着実に進めてまいります。

## 令和6年奥能登豪雨災害への支援を国に要望

令和6年10月3日、当協会は、令和6年能登半島地震と同年9月の奥能登豪雨災害による重複的かつ甚大な被害を受けた農業法人の現状を詳細に取りまとめ、国に対して緊急要望書を提出しました。道路や排水施設の被災で出荷が滞り、営農資材の流通も途絶えるなど深刻な影響が続いている状況を踏まえ、要望書では、早急な施設復旧、資材供給の確保、人材派遣による現地支援体制の強化、さらには低利融資や補助金の拡充を要請。災害の多重化に対応した実効性ある支援策の策定を強く求めました。皆さまの温かいご支援、ご協力に心より感謝申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を祈念いたします。

## 石川県能登地方における地震と豪雨による多重災害に関する要望書の手交

令和7年3月13日、当協会の井村会長を含む理事9名が、能登半島地震および9月の奥能登豪雨という重複災害により甚大な被害を受けた農業現場の実情をふまえ、地元選出の国会議員へ緊急要望書を提出しました。翌14日には、要望書を、農林水産省谷村浩総括審議官に手交。要望では、農地バンクの機能強化や基盤整備の加速、収入保険制度の特例的運用、営農再開に向けた雇用・経営支援、担い手育成への継続的な取り組みなど、実効性ある政策の早期実施を求めました。被災地域の復旧・復興に向けた支援体制の強化が急務です。



## 令和6年度 活動実績

月	日	活動内容	場所
10月	3日	国への豪雨災害に係る緊急要望の提出	東京都
10月	28~29日	北信越ブロック農業法人研修交流会	長野県
11月	12日	スマート農業技術活用研修会	金沢市
1月	22日	日本政策金融公庫との意見交換会	金沢市
2月	5日	令和7年「新春の集い」	金沢市
	18日	石川県農林水産部との意見交換会	金沢市
3月	13~14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆日本農業法人協会 春季大会</li> <li>◆石川県出向OBとの懇親会</li> <li>◆「石川県能登地方における地震と豪雨による多重災害に関する要望書」の手交</li> </ul>	東京都

上記活動の他に、農林総合事務所と連携した地域活動を実施しております。

協会では随時会員を募集しております。興味のある方は事務局までご連絡をお願いします。



**石川県農業法人協会**  
Ishikawa Agriculture Corporate Association

本誌よりの配布対象

会員、賛助会員、アグリサポート会員、その他関係機関  
本協会へのお問い合わせは下記まで宜しくお願いいたします。

<石川県農業法人協会事務局>

担 当 : 向瀬・大和・工藤

電話番号 : 076-225-7621((公財)いしかわ農業総合支援機構内)

メー ル : mukose@inz.or.jp、yamato-e@inz.or.jp、rinkudo@inz.or.jp